



第 26 号

発行所
全国曹洞宗青年会
〒105 東京都港区芝
2-5-2 曹洞宗事務庁内
編集発行 全国曹洞宗青年会
TEL. 03-454-5411代

21世紀に

仏教は答えうるか



全曹青会長 桑原大宗

去る十月廿七・廿八日に亘り曹洞宗静岡県第三宗務所、護持会、婦人会、寺族会、梅花講そして青年会に加えて青年会東海地区協議会の共催団体に依るシンポジウムが開催された。

宗門を語る講座、禅の風、仏心啓発の役割とのテーマのもとに参加者五百数十名を数え、会場の可睡齋の諸堂は満象に埋り曹洞宗のエネルギーを感じ、堂頭原田老師九十三翁の言語明析、気力ある御挨拶、そして曹洞宗組織を挙げての結果にこれほどの動員を図られたことに敬意を表し、今後の会の在り方、持ち方として普く広がり希うものです。

当日駒大教授の松本皓一先生に基調講演、分科会は中野東禅先生、鶴見中渡会正純先生、兵庫県若槻諦世先生、地元教化主事寺田康世先生の四師によりパネルディスカッションが行われた。どの会場も熱気溢るる雰囲気で身近かな問題から信仰、教育、社会、福祉と熱心な話し合いが進められた。

今日宗教に関する研究や論議は榮んに行われているが、全体として現代に生きる人々が受ける印象は、議論が問題の的を正しく射ていない感であり、それは肝心、要の核心に触れる「人間が忘れられているからである」人間の根本問題には全く触れることのない宗

教の研究が余りにも多いことからである。

人々の価値観がますます多様化し、思想的にも混迷の度を加えつつある現代社会にあって生ける者のために生ける道標を指し示す宗教活動には、現実を抱える様々の問題があり、ことのほか難しいものがあるが、しかし難しいからといって諦めるわけにはいかな

い。そういった要望が多く聞かれ、この度のシンポジウムの企画立案がなされた。講師陣は全曹青本部と地元曹青との話し合いのもとに協議し大筋で合意、早速交渉に入った。

理解ある協力が得られ短時日の準備期間であったが地元の呼びかけが功を奏し、動員数では、この度の内容に対する関心の高さと組織挙げての協力があつたからである。

上越新幹線が開通した越後でも連続八回にわたる講演とシンポジウムが開催され、地元で歓迎され大反響を呼んだ。その講演とパネラーを交えた一般の質疑応答が活発に討議されたが、この度大勢の要望に添えてこれらの内容が全文「本」として出版される。

今後の課題として静岡、新潟そして本部としてはアフターサービスの問題であり、時代の仏種の対処に追われることであろう。

これらの企画を契機として来春の総会に向けて現代に相応しい内容と人間として生けるために心落ちかせてくれる仏法を、さまざまな分野で活躍する講師にお願いし、新時代の教化と内容豊かな会へと只今検討中である。

講師陣、テーマの設定、PRの期間と方法、会場、日程の取り決め、動員作戦の見直し、成果の出版等、こころの不安定時代にこそ光を与え、人間生活に生甲斐をもたらしたい。

今こそ原点に帰り真に宗侶としての生き方を社会との広がりにおいて見出してゆきたい。

破草鞋

街を托鉢していたら、何を目的に修業しているのかと尋ねられたことがあった。

僧侶の原点は托鉢行にありと常に思うからである。托鉢行によって知る仏道修行の尊厳さ、大衆の右往左往する声なき声を聞くことによつて、使命に燃え、今何をなすべきかを悟り、それを一生涯かけてやり通して行くことが大切である。私の知っている老僧(八十八歳)今から約十八年前、箱根町観音沢の麓に一字建立を念願し草庵を結び、毎月二回(一日と十五日)托鉢し続け幾多の困難にも負けず十二年目に立派な伽藍が創建され落慶入仏大法要が営弁された。其の後も托鉢行を続けつつ、日本台湾との姉妹寺院を締結し、日台仏教交流の掛け橋となり活躍している老古仏です。

イギリスの歴史学者故トインビー博士は、遺言の中で「滅亡」しようとする人類を救える国は、日本であり中国である」と書いている。仏教的物の考え方の中にあると思う。我々宗侶は大いに奮起し大衆との接点の中に一生涯かけてやり通せる何かを求めざるべきである。

(岡)

後期中央禅のつどい研修会

松原哲明師を迎え 2月9日開催



本年度も全国各地で、曹洞宗青年会会員同志が結集を計り「禅のつどい」が企画運営され、地域社会に即した禅のつどいが開催され大衆の期待に応え、社会の浄化に充分役割を果たしたと存じます。

我々が前期、後期の二期に亘り、中央研修会を開く事は、前期は計画、後期は反省のためと言うことを根幹として、禅のつどいの研修会を最重点かつ強力的に実施するという、歴代会長の方針に基づき、英知を集め討議を重ね基調講演を中心に充実した内容で今日まで、中央研修会を開き、コミュニケーションを通しながらよりよき禅のつどい発展向上と、会員諸師の期

待に應えてまいりました。

更に子供禅のつどいが、全国津々浦々にまで普及しておる今日、未来にはばたく青少年の健全育成と立派な人間形成のためにも、大変重要な意義があると存じます。

そのような点を充分認識し、研修委員会として、基調講演を柱にその年度内に開催された、つどいを網羅し新たに斬新な企画運営されたものについて、「事例発表を願

い会員同志真剣に研鑽を積み重ね意見を交換し、新しい方向づけを見い出してまいりました。本年度も、全国各地の会場で開催された内、事例発表を依頼いたしましたのは、京都府曹青主催「洋上禅のつどい」(対象一般)と若手県曹青主催「民話禅のつどい」(対象子供)の二点です。

聞くところによると、洋上禅のつどいは、参加者数千名にのぼり大成功裡に円成のこと、民話禅のつどいも、それに劣らぬ高い評価を受けて子供達に大いなる夢を与え仏心の啓発につとめたこととです。会員の皆様には必ずや得ることが大であると確信しております。



す。

基調講演につきましては、「明日への提言」と題し、宗門外より臨濟宗妙心寺派竜源寺住職、松原哲明師に依頼をいたしました。松原哲明師は松原泰道老師の法嗣であります。

今日宗教界に於て、若手の第一人者として大活躍をされておる方で、特に「なむの会」運動(現代の辻説法で東京の原宿に「なむ」という喫茶店があり毎週水曜日の夜七時から九時までの間、辻説法が行われている。現在は数箇所会場)又真如会等自坊を開放し卓越した識見と広い視野に立って教化活動に専念し、数多くの講演や著書「無明」「静寂心」等もあらわ

出版案内

松尾 茂編

道歌大観
布教・教化資料としての仏教和歌の集大成。

A5判 定価14,500円

中川 洪庵著

禅語字彙
禅語解説辞典の決定版。

B6判 定価7,000円

横関了胤編

伝光録詳解
異文対考・出典備考
多くの原典に遡及し、異同を考証した伝光録の決定版。

B5判 定価9,000円

仏戒大意
A5判 定価3,800円

従容録講話
A5判 定価12,500円

従容録(和綴本)
納入定価14,500円

曹洞宗通信講座
全4巻 A5判 定価26,000円

曹洞宗布教指導叢書
全4巻 A5判 定価29,000円

三 宝 書 院

基本仏典の拡充

三 宝 出 版 会

〒164 中野郵便局私書箱64号
TEL 03(338)4144(5)
FAX 03(338)4144(5)
振替 東京 9-522032番

青年会といえどごく一般的な感覚で受け止めると、やはり十代の末から二十代の若い人々の集りのイメージがある。曹洞宗青年会は四十才まで資格があるから、相当年齢の中が広い。大学を終えてから本山や僧堂の安居があり、師寮寺へ帰ってからいよいよ一人前の僧侶として檀信徒や地域社会に受け入れられるまでに数年は要しようから、青年会員として実動するのは二十代後半となる。従って宗門では二十代から三十代を青年僧侶とみるのも頷かれる。

さて、青年会が全国的な組織を有するものであっても、要は個人を二単位とする集合体である。組織の強弱や優劣は個人の資質にゆだねられているわけで、組織全体の活動によって会員が向上し、また構成員の力によって組織が強化されるという密接な相関関係が存在するのである。

わが青年会の会員はいうまでもなく僧侶であり、教化者としての社会的な責任を担う人間である。教化は僧侶である以上、生涯を通じての課題であり、定年退職は無い。

しかし基礎的な実力は当然な

が若い時期に学び身につけるものである。この時期にいかにか苦勞し悩みつつ生きるか、が生涯を決定するといっても過言ではない。両祖や祖師方の行履にもそれは明らかである。会員諸君もこれ

望むに青曹全

人事部長

細川 祐 葆



年代において、日々怠らず真摯に悩みつつ成長してほしい。

出家道を建前とする教義と現実の生活とのギャップ。大学で学び僧堂で修行して培われてきた内容は純粹に出家者の生き方を示すも

のであるが、寺へ帰れば葬式法事が優先し坐禅の機会も少い。世襲する者として、父を師とし母や子がいる寺庭の生活。矛盾の毎日といってもよいかも知れない。しかも現状では宗門として明確な解決を与えてはくれない。

こういう様々な課題に対して目を背けることなく受け止めてくれることを願うのである。強いていえばこれは若い宗侶の特権であるのかも知れない。すでに周知のごとく先聖はみな若い時代に深刻な苦悩と戦いながら、自分で乗り越えて行かれたのである。

今後、青年会へ対する宗門内外からの期待は年々増していることが、組織の生命は会員の資質にゆだねられていることを認識してほしいものである。

若い頃は、ややもすると実体の無い漠然としたものに目を奪われて足下を顧ることを忘れがちである。そうあって欲しくない。私は曹洞宗青年会は青年宗侶の代名詞と思っている。この期待ゆえに敢えて直言した次第である。意のあるところを賢察され、弁道の一助とされれば幸せである。

しております。

我々会員も充分学ぶべきことがあると存じます。尚講演終了後は、講師を囲み、全曹青側を代表し長井福雄師、村瀬信行師、大谷俊定師の三師によって一時間に亘り鼎談をしていただきます。鼎談内容については、現在研修委員会において検討中ですが、我々の熱い期待に応えられるべく鼎談にしたいと考えております。

乞御期待

そしてこの鼎談を通し新風を吹こんで、や、もするとマンネリ化の傾向に歯止めをかけ、一石を投じ、地方に帰って、それぞれの立場で討議を重ねていただき、明日へのアプローチになることを念じます。

いづれにいたしましても我々は仏祖道の探求と自己の弁道に専念する反面、一ヶ寺の住職あるいは副住として寺院運営に携わり目を外に向けては社会のなかに飛びこんで布教に務めなければならぬ立場です。

願はくば一人でも多く研修会に参加をしていただき、自からの研鑽のためにもつとめて下さい。

最後になりましたが、先般(十月二十七日)静岡県可睡斎に於て開催された「宗門を語る講座」のシンポジウムについても発表をしていただきます。

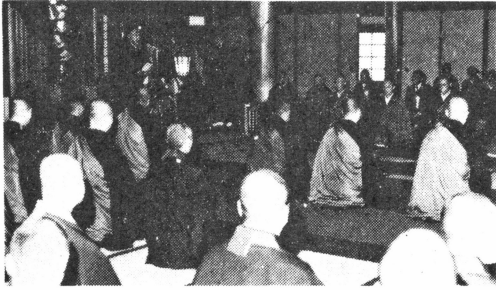
寺院専門の書道用具店

その他中国美術工芸品

書 道 月

◎ 当店には塔婆専用開発した非常に木に強い毛切れのしない筆があります。

静岡市新川2-9-31 TEL.0542-81-8005



青年宗侶に課せられた 問題をさぐる

第7回 東北地方集会庄内大会

十月三十一日(日)、天を透明なまで高くなった青空の下に、名刹「善宝寺」会場へ、東北曹青八個団体の精鋭百三十名近くが結集した。

一昨年来の課題として、庄内曹青が当番となつての第七回の東北曹青集会庄内大会が、いよいよ現実のものとなると思うと自然に早起きになったものでした。あの準備はどうなったか、この準備はどうなったかと、及ぶ限り点検した積りでしたが、「会長、あれは。」「会長、これは。」と各係の方々からの問い合わせが重なつて、机で考えた原案と実際の動き出したのでは、かなり落差があつて、開会式前後までの混乱ぶりは相当なものでした。

広い本堂での開会式では、宗務所長老師、地元選出宗会議員、教区長各位、東北曹青顧問、全国曹青会長等が列席して下され、花を添えていただきました。

今回のテーマは「僧侶の自覚すべき現実社会」ということで、原点としての寺院関係における法律の現況というサブテーマを掲げました。講師として、記念講演には「龍神信仰について」のテーマで、地元在住の国際的に御活躍中の、乗慶院住職五十嵐卓三老師にお願いしました。シルクロードの名前などをまじえながら、信仰

の原点などの説明と共に、会場「善宝寺」を中心とした「龍神信仰について」の意義深い講演になりました。

基調講演は、月刊「住職」誌の法律顧問から、真野・鈴木法律事務所主宰の鈴木富七郎弁護士の「寺院関係の法律的現況」という題でした。宗教法法三十年を迎えて、いままらながら、関係者お互いが慣れあいに近い状況で過ごしてきてしまった結果、墓地や税務の面での如く不備な点が二重にも三重にも障害になつてしまつている事に愕然としたものでした。鈴木先生のお人柄から休憩時間中にも数多くの個別相談の機会がもたれたりして、先生の誠心誠意の姿に実行委員一同感激を新たにしました。その上、時間的にできなかつた相談には、通信相談も無料で応じてくださると確約していただきました恐縮したものでした。

東北曹青集会名物の「薬石、懇親会」は、立食の関係からか、はたまた名湯「湯の浜温泉」がすぐ側の関係からか、一時間半を過ぎた頃には、庄内曹青会員以外は十名位という状態でした。「エッ、まだ七時四十五分」と誰かの叫んだ声、夜の早い庄内大会を象徴していたのではないのでしょうか。一夜明けて朝課の席から帰つたある友が、「あれは職人芸だね」と



鳴らし物や、大般若祈禱を評したのに、「あれが庄内仏法の原点なのだよ」と答えたものでした。

明け方からの雨。そして思ったのは、実行委員長としての役を任せてもらったのに、或いは充分に果たしきれなかつたのではないかと不安でした。それも、閉会式の謝辞で洗い流していただき、本堂に暖かな拍手の中で終つたという感慨を深くしたものでした。最後になりましたが。

東北地方各単位曹青会員、地元寺院各位、会場主老師、特に本庁はじめ宗務所長老師及び宗務所関係者、教区長各位の御支援に謝意を表します。

(第七回曹青東北地方集庄内大会 実行委員長)

折疊焼香台

2台で1セット：
●使用時、高さ75cm×幅60cm×奥行40cm
●収納時、高さ85cm×幅60cm×奥行8cm

- 【Aタイプ】 55,000円 (ハト返し有り)
- 【Bタイプ】 50,000円 (ハト返しなし)

●1台のみの場合は半額 ●色は、黒色 溜色・朱色

■申し込み資料請求はハガキにてどうぞ。

株式会社 サヤック インターナショナル・ジャパン
〒183 東京都府中市浅間町4-3 電話0423(69)2431

- 〈御用途〉
- 屋外供養
 - 前卓など
 - 本堂焼香
 - 説教机
 - 幕前供養



僧俗一体五百数拾名

古刹に集う

第6回 東海地方集會 静岡大会



「葬式仏教」という言葉で日本のな仏教のあいまいさが指摘されている。しかし、日本人には日本人的思想と心情で仏教を再構成して人間の落ちつきどころをうったえ続けているのかも知れない。現代社会の混乱の中で、仏教は日本人の支えとなるだろうか。

遠州の古刹「可睡齋」に於て、

第六回東海地方集會「宗門を語る講座」が、晩秋の十月二十七日に静岡第三曹青により開催された。

当日会場には、管内檀信徒五百余名が集り当初予定していたよりはるかに多くの参加者が有り、主催者の喜びもさる事ながら、改めて一般檀信徒の熱い眼差しを痛

めて一般檀信徒の熱い眼差しを痛

烈に感じさせられた。

大会は、三部形式で第一部基調講演第二部パネルディスカッション分科会第三部全体会という日程で進められ、

第一部 基調講演

テーマ 「日本人と仏教」

講師 駒大教授 松本皓一先生

② 教育

若槻諦世氏 兵庫県嬉野台生涯教育センター主宰

競争社会にあつて真に人間的教育の対応が必要とされている現在、仏教徒にふさわしい教育のあり方を問う。

渡会正純氏 鶴見女子中学教諭

③ 福祉

すさぶ社会の抑圧の中で、人間のいのちの回復をはかる仏教福祉学と高令化社会に象徴される「弱き者」をつつみうる健康な精神を實現する仏教福祉のあり方を問う。

寺田康世氏 静岡第三教化主事

④ 信仰

巨大化し、多様化し、世俗化して

第二部 パネルディスカッション 分科会

① 社会

不安とひずみと巨大化の現状にあつて、真に人間回復を主張する仏教徒の道をさぐる。

若槻諦世氏 兵庫県嬉野台生涯教育センター主宰

第三部 全体会

四分科会に於いて交換された意見の発表及び全体講評。
大会終了後には、好機会でありましたので東海曹青会員を対象に松本皓一先生より叱咤激励の講演も受け、大会及び講演を通して殊に分科会での参加者の数多く発表された真摯で直截な意見を聞いて青年僧として何をなすべきかが要求されているのか、大衆教化の接点をどこにどのように見出すかをつかんだではないだろうか。

中野東禪氏 全曹青常任講師
以上各部門四パネラーの問題提起の発言の後参加者がそれぞれ希望する分科会に分かれての意見交換を行う。

尚当日私たちが何かしてあげた
いと、管内婦人会の人達によりチャリティーバザーが昼食後を利用して行なわれ、売上金五十万円余が各方面に送られた。

翌日は会場を天竜市民グラウンドに移し、親睦ソフトボール大会が八チーム参加のもとに行われ、晴天の一日とは異つた和気のうちに全日程を終了した。

桜井周二

確かな寺院運営の実現！

サービスOK！ 364-0671

創業10年 日本寺院株式会社 東京都新宿区百人町1-13-2 三昭ビル

- 保険事業 (他社の追跡を許さない寺院専門の保険システム 第一生命、朝日生命、東京海上、AIU各社と提携)
- 事務機器販売 (寺院のOA機器類(パソコン、オフコン、コピーその他)事務機器全般)
- 寺院向け各種商品販売 (仏具・家具・環境用品・焼却炉、その他寺院専用商品)

寺院運営のトータルプランナーの私達は、

- 寺院建築設計 (寺院(歴史・美・機能)の立場から建築のポリシーを求めたオリジナル設計)
- 堂繕工事 (大小どのような修理、営繕工事もお引受け致します 寺院専門の小廻りのきくサービス施工)
- 宗教行事企画施工 (慶弔会出張パーティ、祭り等のイベント企画 寺院専門の立場からの充実した企画・施工)
- 視聴覚事業 (布教教化用のビデオ製作、映画製作・寺史ビデオ、行持作法等の記録保存ビデオ)
- デザイン・印刷・刷製事業 (寺史の編さん・縁起・布教ポスター・カレンダー・ステッカー・自費出版・寺報他)
- 清掃メンテナンス工事 (境内・墓地の清掃、堂内保守管理、各種クリーニング、日本唯一の寺院専門のサービス)



京都緑蔭禪20周年記念

法脈授戒会「自覚の式」を修行

京都曹洞宗青年会



京都曹洞宗青年会は、今年七月十六日から十八日までの二泊三日間、第二〇回京都緑蔭禪の集いを開催した。開催会場は、まさに恵まれた曹洞宗初開道場興聖寺に於いてであり、満二十才を記念して法脈授戒会「自覚の式」を行なった。私達の課題は、禪戒一如を行なうること、今までの法脈会授戒会に対する一種の挑戦でもあった。禪戒一如とは常々説いている宗門の授戒会にとっても、仲々坐禅が盛り込めないのが現状であるが、坐禅と授戒を一体化しようとした。つまり、説戒、坐禅、説教

坐禅の積み重ねであり、さらに、赴粥飯法に基く食事、作務を行じた。こうして禪戒一如と行もまた禪、戒の生活化をねらったのである。さらに加えて、戒師以下典座寮事務局長に至る総ての人員が十七名で運営できたことは、本来の目的以

外に今までの授戒会、法脈会に対するイメージや形態、先入観を打破れることも実証できた。

授戒会は、肉山寺院、大資金、多くの戒弟集め云々と問題を抱えているのが現実には、葬儀という場で授戒をしているし、年をとったから戒名をつけてくれという人には、戒名をつけているという現実がある。この事象もやはり授戒であるならば、常に授戒会や法脈会は手近に少資金で行ぜられることが大切なことだと思われ、また行ぜられる様にしなければならぬ。宗門に於いては、宗祖に対する報恩が一般化していない。

このことを軌道に乗せることによって授戒も大衆化されるのではないかと考えている。盆や彼岸の施餓鬼会が行ぜられているように報恩授戒が行なわれることを提案したい。

ところで、ここで参加者の声を少し例に挙げて考察したい。

〔教授道場〕
中に入って身が引き締まって何とも言えなかった。(18才女)
素直になれた。罪を済んでもらったという気がした。(27才男)
準備の真剣さを見て徒ならぬとは思っていたが、中に入って異様な気がした。(36才男)

〔血脈をもらって〕
私共がこんなに大切なものをも

らっていいのかしら。(46才女)
水戸黄門の印籠ではないが「控えおろう、これは恐れ多いものだぞ」って思ってます。(19才女)

〔正授道場〕
鈴を振って回られた時、全く一人になれた。(46才女)
ただありがたくなって泣がでてきました。(53才女)

〔焼却〕(一人一人罪を紙に書いて提出したものを焼却する)
自分が今まで犯した罪がわからなかった。(19才女)
今までの罪を焼いてもらってすっきりした。(43才男)

毎年焼いてほしい。(42才男)
その他、高令者には、罪が多く有りすぎて書き切れないとか、罪と言えれば罪かも知れないが生きて行くのに仕方ないことは罪ではない。などの返事が返ってきた。その点、若年層程純粋に罪を認識している。こうしたことから見れば、戒そのものの日常具体化が課題としてクロージャーアップされてくる。「苦しい時の神だのみ」は、信心への動機付けとなっても正法への導入とはならない。京都曹洞宗提言の青少年のための授戒は、真の戒法の理解から始まり、人生の目的、生きることへの希望と原動力を与えることにならうと考えている。そして、正法がさりげなく日常の中に存在してくれることを望んでいる。

会長 大谷俊定

注文仏像・紫檀製仏具・大木魚・大鑿子

株式会社 宗像商会

本社 東京都東村山市富士見町3-2-17
〒189 0423 (95) 8 5 0 5
盛岡営業所 盛岡市中橋通り 2-4-16
〒020 0196 (54) 2 9 1 6

— 特価ご案内 —
“雲中供養菩薩像13体一組”

1. 150万円
 - 1) 一体12万円×13体 =156万円
 - 2) 単体注文の場合 1体15万円
2. 紅檜材—2寸度
ノーペーパー仕上
3. 大きさ 1.5尺~2.0尺
4. 安置方法
 - 1) 壁掛式
 - 2) 置物
 - 3) 欄間組込み

どうぞお気軽にカタログをご請求下さい。

私も曹洞宗

鈴木善幸首相

菩提寺に参拝

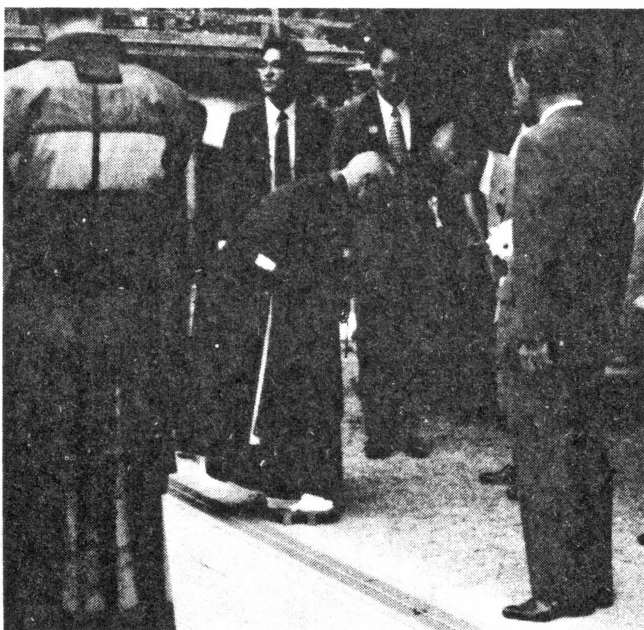
岩手県山田町 竜昌寺

日本の総理大臣、鈴木善幸さんは、知る人ぞ知る熱心な曹洞宗の信者である。

首相となって以来、多忙なため毎年欠かさずつづけていたご先祖の墓参りは、ここ二年奥様まかせであったが、去る九月六日ようやくご先祖様に首相になったことを報告することができた。

清水住職も出迎

鈴木善幸総理大臣の菩提寺は、岩手県下閉伊郡山田町竜昌寺(清水誠勝住職)である。善幸さんは、この日東北地域を廻り、予定された時間も約一時間もオーバーするほど、各地の歓迎会を廻り疲れてはいたが、郷里の山田町についた善幸さんは、まず菩提寺が心にあつたとか。今回の里帰りも墓参りのためが、公式に発表されている里帰りの理由であるだけに、九月六日のこの時が一番大切な時間であったといえる。この日、山田町の歓迎会場から善幸さん夫妻が菩提寺、竜昌寺に着いたのは午後四時であった。山門頭には清水誠勝



住職をはじめ鈴木家親類の方々が出迎えた。善幸さんは、山門頭の清水住職に深々と一礼し、住職の後について本堂に入った。本堂ではただちに近隣寺院六ヶ寺の随喜を受けて、清水住職導師のもとで先亡供養法要が営まれた。一般新聞や週刊誌では全くといってよい

ほど、こうした善幸さんの信心深い一面は紹介されなかったが、このあと善幸さんは墓地へ出向き、ご両親のねむる鈴木家の墓碑の前で、しっかりと手を合わせ、しばしの間、目をパチパチとしばたかせたあと、深く頭を下げた。墓参をすませた善幸さんは、竜

昌寺客室において住職と共にお茶を飲みながらしばし歓談をされたが、久しぶりの墓参に心もちホッとした様子であった。
清水住職の話 総理大臣になつても鈴木善幸さんは善幸さんです。最近はずいぶん墓参も思うようにならなかつたようですが、その時には奥さんが代りに墓参に見えておりました。今までと同じような鈴木善幸さんであつてほしいと思います。そして日本のためにがんばってほしいと念じております。

57・9・15発行
(曹青通信いわて第八号より)

坐蒲

大好評！東北曹青推薦。

1個 2,500円 (10個単位でお申込み下さい)

お申込みは、
東北曹青坐蒲設置運動推進委員会 へ

宮城県名取市増田 耕竜寺内
郵便番号 981-12

仏壇のあいぞの

株式会社 藍園仏具店

☎(092) 271-0215(代表)



私たちは人生の永遠の道標である仏教を、現代にマッチした表現とメディアによって多くの人々と分かち合いたいと願います。

株式会社

信園

東京都豊島区東池袋2-39-2 大住ビル501

〒170 Phone:03-984-1327 (代)

提言

宗教家として

私は自分を宗教家であり、教育者だと思っている。しかしそれが、決して自分自身

の家庭や心の平穩に結びつくものではない。それ以上に嵐や風に吹きさらされ、まったくどこにもある現代家庭である。嫁・姑問題、これは家内と養母との関係、そして高校二年生のはげしい心の起伏、自分自身の勤務上のこと等、一日として安らぎがない。田舎寺で、高校教師を勤めていたが、三年程前より県教育委員会社会教育主事として、生涯教育問題にとりこんでいる。司法保護司もしている。そのどれも崩壊されなかった家庭に出向いていくが、どれもきめ手がない。自分の問題や、これ等多くの問題を、宗教家として、また教育者としてどう解決するかせまられても、まったく方法がない。父親が高校生のわが子を殺した事件に、宗教家や教育者は一体どう答えるだろうか。そして私もその中の一人であり、とまどう以外に方法を知らないのである。

現代社会は画一化された思考の中だけでは物を見ない。見えなくたって、判断出来ない。自分の人生にしても、仏陀の御教えにしても自分勝手な見方や、考え方に固

執して、自分の見解とちがうと、そんなはずはない」などといって、本当に理解しようとしなさい。「百尺竿頭へのぼって、さらに一歩進めること」が出来ないのである。仏陀の言葉の「真実に随順する」ことがない。

宗教と教育

私は職業上の都合で、教育について考えることが多いが仲々出口がない。近年女性の自立が叫ばれ、そしてやがてそれは「主婦症・家庭の崩壊」へと暗い一歩をたどり

現代家庭の崩壊と

仏陀の救い

若規諦世

はじている。

兵庫県教育委員会指導主事A女史は「女性が自我に目覚めること、それは大切なことだ。女性も人間であることを主張してもよいではないか。自分自身の生き方を問いつめていってもいいではないか。主婦であることに疑問を感じてもいいではないか。これ程に主婦は

単調で、しかも手ぬき出来ない家事労働に汲々といはずりまわらなければならぬのだ。夫が家庭のことをどれ程理解し、主婦が生き

がいと思うほどにどれ程か感動してくるだろうか。そうしてだんだん重い主婦症におちいっていったのだから。現代社会は、感動のないところから、人々に可能性や活性化を喪失させてしまっているのではないか。」と語っていたが、なるほどと考えさせられる。

「感動しない人間。我が子が生まれることにも感動しない人間。感動どころか、生まれる子どもの生命を、自分の手で勝手に中絶してしまう意識のおそろしさを感じ

るのである。その中絶についても本質的に決定権をもっているのは女性であり、現代主婦症は「女の立場に決定権はない」と、男性への甘えの結果、水のような冷たい拒否感覚が、無慈悲な主婦自身をさいなめるのではないかと思う。」とA女史が語っていた。

ある日A女史が仏陀の前に深々と祈る姿をみかけた。そして、女史の教育への情熱が、その祈りの中から生れているのではないかと感じ、実は教育の根底には、祈り

（宗教）によってつちかわれる確固たる信念が必要ではないかと、つくづくと感じたのである。

現代家庭の崩壊と仏陀の救い

私は中国を訪れた時、寧波の港で、かつて道元禪師が阿育王寺の老典座から学んだ、日常茶飯事ということにふと気が付いた。今家庭教育について考える時、その典座の言葉に示唆されるものが多い。即ち、日常生活そのものを我々はもっと深くみつめなければならぬと思う。妻や子どもに日々万分の心のつづかいは出来ないのなら、既にそこに解決の道をみ出すことは出来ないだろう。

自然を愛したり、山や海の美しさを感じる事が出来ないなら、妻や夫との対話に感動がないとしたら……いかに仏陀をもつてしても救いはないと考える。例えもろとも地獄におちるとしても、結ばれたえにしを大切に生きてつづけることが、もっとも人生にとって大切な生き方ではないかと思う。

「たとひ法然上人にすかされ参らせて、念仏して地獄に落ちたりとも、さらに後悔すべからず候」と親鸞聖人のおさとしのように、我が夫のために、わが子のために、妻のためにもろとも地獄におちる覚悟があるなら、仏陀の救いがあると……。

梅花講指定店



株式会社

藤安

東京店 東京都港区虎ノ門3丁目10番1号 (☎105)

電話 (03)431-0428

本社 京都市東山区古門前通花見小路東入 (☎605)

{ 法衣部 電話(075)541-8161(代)
 仏具部 電話(075)541-8165(代)

福岡店 福岡市博多区上呉服町12-7 (☎812)

電話(092)291-2143(代)

佛教の生活

ハンドブック

申込先

〒105 東京都港区芝2-5-2

曹洞宗宗務庁内

全国曹洞宗青年会宛

ハガキでも受付ます

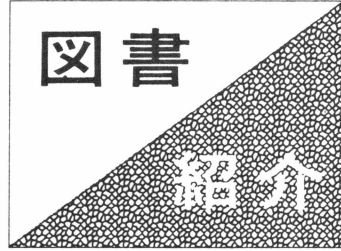
前編 修証義にもとずいて
後編 清らかな生活文化

○ 1冊500円(送料200円)

50部以上 1割引

100部以上 1割5分引

○ 送料は宗務庁頒価送料



図書

紹介

「講演録」

これは、昭和五十六年十一月、仙台で開かれた第四回の曹洞宗青年会東北地方集会における講演録である。

東北大学文学部助教受で、現在は国立歴史民族博物館民俗研究部教授をつとめる山折哲雄先生の「仏教信仰の原点」と愛知専門尼僧堂々長の青山俊董尼老師の「私のみる現代社会と宗教」の二講演が収録されている。

前者の山折講演は、宗侶を対象として語られ「日本霊異記」「日本書記」の文献例を示しながら、靈魂信仰と仏教思想のかかわりについて説いている。後者の青山講演は、一般を対象として語られ、尼老師の生い立ちに始まり、「十億の人に十億の母あれど、吾母にまさる母あらめやも」と世間通常に接する出来事を例に宗教を説かれた。

参加者のみならず、多くの人々の要望により宮城県曹洞宗青年会がテープから筆録し、五十八頁の小冊子にまとめた。希望者は、郵便番号九八二、仙台市門前町八ノ二二福聚院内「宮城県曹洞宗青年会」へ。頒価五〇〇円(送料共)



只春は花 夏ほととぎす

秋は月 冬雪さえて すずしかりけり

(朗読・芦田伸介)

◎曹洞宗の開祖道元禪師が折にふれて、読まれた和歌のひとつ。

『本来ノ面目ヲ詠ズ』

と、題されており、読めば読むほど感ずるところあるものの……。

そもそも本来の面目とは、禪を指しての言葉の云いか?

いや、禪というものの、言葉などで云い表すことのできるものでなく、強

いて手がかりを求めるならば、道元禪師の歩まれた足跡を改めて探りな

おしてみるほか術なしという気がする……。

黛 敏郎 作曲

カンタータ「只管打坐」頒価 五〇〇〇円

お申込みは左記へ「ハガキにて」

港区二一五一一 曹洞宗宗務庁内

全国曹洞宗青年会宛

9月1日。村山裝飾舞台が「ムラヤマ」の新社名に変わりました。



ムラヤマのコーポレート・マーク。
頭文字Mを図案化し、
新世紀へ向って力強く飛躍する
翼を象徴しています。

スペースづくり80年。 そして新たな世紀へ。

DISPLAY & INTERIOR 株式会社ムラヤマ

〒112 東京都文京区後楽2-13-10
TEL(03)813-1201(代)
東京/大阪/名古屋/神戸
旧社名=村山裝飾舞台株式会社

事務局だより

◎地方集會大盛況

全曹青と地方曹青のパイプとなるべき地方集會が今秋二会場開催された。

まず六回目をむかえた東海地方集會は、静岡県第三事務所青年會が主管し、十月二十七日・二十八日の両日に渡って東海の名刹可睡齋において開かれ、本会より、桑原会長、三副会長をはじめ、全執行部が出席し、合わせて、本部署務局も併催し後期事業の打ち合わせを行った。また第七回東北地方集會が、鶴岡の善玉寺にて、十月三十一日・十一月一日の二日間開催され桑原会長、菊地副会長、平子書記の三名が出席しました。どちらの集會も、地方曹青の団

結が熱気となってあらわれ、大盛況に行なわれた。(詳細は別記)

◎統「曹青のあゆみ」

事業委員会では、本年度事業として、好評であった「曹青のあゆみ」の地方版として「統・曹青のあゆみ」の編集にか、つております。各地曹青の紹介欄も、評議員各位を通じて原稿も順調に集まっております。各地のユニークな活動等の紹介など、本年度中に印刷に廻し、校正をすませて明年早々には発行の運びになることと思っております。

◎事務局員バトンタッチ

三年半余に渡って本会の事務局員として万全な会務を担当していた、いた平子定世宗務庁書記が、

事務局日誌

◎8月1日 曹青通信第25号発行

8月30日 事務局 会

8月31日 理事 会

9月30日 本部事務局会

10月1日 事務局(可睡齋)

10月27日 東海地方集會

10月28日 会長以下10名派遣

10月31日 東北地方集會(善玉寺)

11月1日

会長以下二名派遣

11月8日 広報委員会

11月9日 事業委員会

11月15日 研修委員会

11月16日

11月29日 本部事務局会・理事

11月30日 会、総合企画委員会

12月4日 近畿地方集會(奈良)

12月5日 (県)

本年十二月中旬をもって一身上の都合により退職されます。

長い間ごくろうさまでした。

なお後任事務局員として、ペテラン書記であります渡辺宗孝君が青年会事務局を担当することになりました

「よろしくお願い致します。」

◎会費納入状況

十一月末現在の本年度の会費納入状況は八百七十名余となっております。例年になく会員諸氏の御理解で順調に納入されております。

会員台帳等の不手際で再度請求などがありましたらおわび致します。会費は、総予算からすれば、一割弱をしめるものであります。全曹青本来の自主活動に欠かれないお金であります。各地におかれましては、同志をお添えいたゞき千円の会費を納入していただくことで全曹青の会員拡大をはかっていただきたいものです。

◎今後の全曹青事業の予告

① 後期禅のつどい研修会

日時 二月九日

講師 松原哲明師

② 禅文化学林

日時 三月十一・十二日

会場 大本山総持寺

講師 杉山二郎

小泉文夫

佐藤俊明

渡合正純

会費納入のお願い

昭和五十七年度も、あと三ヶ月で終ろうとしております。

さて、全曹青会費本年度未納の方は、同封振替用紙にて御送金下さるよう、よろしくお願いいたします。(正会員年額金一〇〇〇円、賛助会員は一口、一〇〇〇円です)

尚地区単位曹青にてまとめて納入のときは、納入会員名を書き添えてお願いします。

又、事務局台帳の充実を期するため、振替用紙裏面かハガキ等にて生年月日、住所、寺名、地区曹青役職等なるべく詳しく書き添えて、事務局宛にお送り下さい。

後期

曹青通信、スタイルを一新して二号目、毎回のことながら入稿まぎわまで、原稿依頼者に、督促の電話、次回こそ早めに送って下さい、お願いします。

今回はC・Mを募集しましたところ、十数社より申込みが殺到し、本部としては熱意ある理解者にお礼を申し上げます。

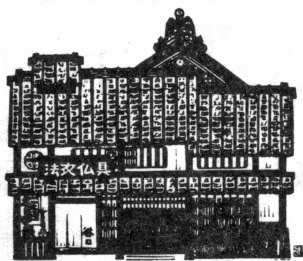
年度末まであと二回の発行を予定しております、各地曹青、会の内外を問わず意見と情報の投稿を期待してます。

梅花流法具販売指定店

(株) 橋本佛壇・家具センター

福井県敦賀市相生町3-16

TEL 07702・2・0945



両大本山御用達 曹洞宗専門
株式会社 谷口法衣佛具店

京都市下京区高辻通船場町東入下100
電話 京都075(3)519741(代表)
取引銀行 三和銀行五条支店 電話41006
振替 京都15437番